



第89回選抜高等学校野球大会優勝記念特集

2017年
春

OSAKA TOIN HIGH SCHOOL

BASEBALL TEAM

史上初
5年ぶり
大阪対決
2回目



Special
Issue
NeOSU

学園ニュースレター「ネオス」特別号

4月1日(土)

決勝

対 履正社
(大阪)

好球必打で 5年ぶりの優勝

好球必打を徹底し、本塁打攻勢で突き放した。同点にされた直後の九回1死二塁、代打・西島が球威の落ちた履正社のエース竹田の甘い速球を逃さず、値千金の左越え2点本塁打を放って勝ち越し。さらに、先頭打者アーチを含む2本のソロ本塁打を放っていた藤原が右越え三塁打で好機を作り、根尾、中川、山本の3連続短長打でこの回計5得点。4本塁打、14安打で打ち勝った。先発したエース徳山は低めへ丁寧に集め、五回まで無安打投球。終盤につかまったが、2番手・根尾との継投で切り抜けた。

午後0時32分開始(観衆40,000人)

大阪桐蔭	1	1	0	0	0	1	0	0	5	8
履正社	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3

一回、藤原が本塁打を放ち、先制



二回2死、坂之下が左越え本塁打を放ち、追加点

史上初の大阪





九回一死二塁、代打・西島が左越え2点本塁打を放つ

大阪桐蔭		打	安	点	振	球	
⑧78	藤原	5	3	2	1	0	
⑦	宮崎	3	0	0	1	0	
H81	根尾	2	1	1	0	0	
③	中川	4	2	1	1	1	
⑨	山本	5	2	1	0	0	
⑤	山田	5	2	0	0	0	
②	福井	5	0	0	2	0	
④	坂之下	4	2	1	0	0	
⑥	泉口	3	1	0	0	0	
①	徳山	2	0	0	2	1	
H	西島	1	1	2	0	0	
7	坂本	0	0	0	0	0	
犠盗失併残		39	14	8	7	2	
11037							
投手		回	打	安	振	球	責
徳山	山	8	33	6	7	5	3
根	尾	1	4	0	0	2	0

履	正	社	打	安	点	振	球
⑨	石	田	5	1	0	1	0
④	溝	邊	3	0	0	1	0
H	白	瀧	1	0	0	0	0
4	三	木	0	0	0	0	0
⑤	安	田	3	1	0	1	1
⑦	若	林	2	1	1	1	2
②	濱	内	3	2	2	0	0
①	竹	田	4	0	0	2	0
1	松	井	0	0	0	0	0
⑧	筒	井	2	0	0	0	0
H 8	竹	村	0	0	0	0	2
②	片	山	4	0	0	0	0
⑥	西	山	2	1	0	1	2
犠	盗	失	併	残			
1	0	0	1	7	29	6	3
						7	7
投手			回	打	安	振	球
竹	田	井	8½	40	14	7	2
松	井	田	2	0	0	0	0

- 本塁打 藤原(大)1号②号①
坂之下(大)1号①、
西島(大)1号②
- 三塁打 西山(大)、藤原(大)
- 二塁打 濱内(履)、中川(大)
- 犠打 泉口(大)、濱内(履)
- 盗塁 根尾(大)
- 暴投 徳山(大)
- 試合時間 2時間19分
(球審)戸塚
(塁審)永井、北田、前坂

対決制す





一回無死満塁、根尾が右前2点適時打を放ち先制



7回無失点に抑えた先発・徳山



四回2死二塁、山田が左越え2点本塁打を放つ

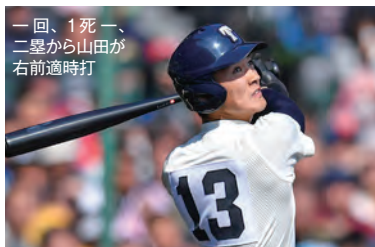
3月25日(土)
1回戦
対 宇部鴻城
(山口)

零封11得点 投打で圧倒

午前9時1分開始(観衆34,000人)

宇部鴻城	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪桐蔭	5	1	0	2	2	0	0	11

一回、藤原の中堅左への二塁打を皮切りに無死満塁とし、山本が押し出し四球を選んで1点を先取。さらに、根尾の右前2点適時打などで、この回計5点を奪った。二回には山田の中前適時打で1点を加えた。四回には、山田の左越え2ランで加算。五回にも敵失などで2点を奪った。八回にも敵失絡みで1点を加えた。エース右腕の徳山が7回無失点と好投。継投で零封して逃げ切った。



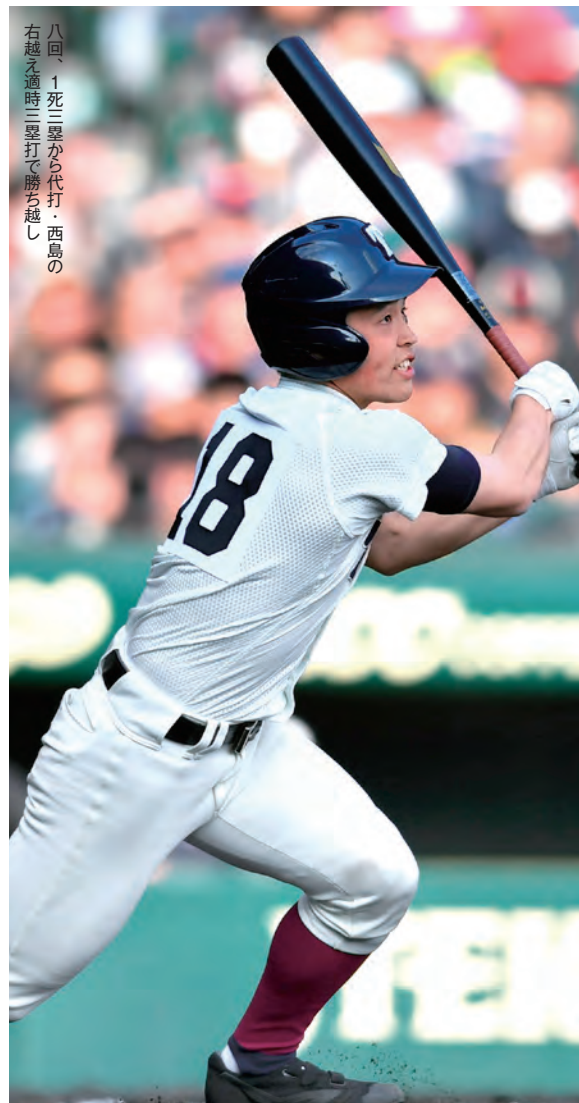
一回、1死一、二塁から山田が右前適時打



一回、1死一、三塁から福井が適時打



八回、1死三塁から坂之下が左前適時打



八回、1死三塁から代打・西島の右越え適時三塁打で勝ち越し

3月27日(月)
2回戦
対 静岡
(静岡)

八回勝機読む 勝ちきる打力

午後2時21分開始(観衆41,000人)

大阪桐蔭	6	0	0	0	0	0	0	3	2	11
静岡	6	1	0	0	0	0	1	0	0	8

14安打11得点で打撃戦を制した。一回に山田、福井の連続適時打などで計6点を先取。2点を追う八回には敵失で1点を奪うと、坂之下が同点の左前打、代打・西島が勝ち越しの三塁打を放った。4番手の根尾も2回を無失点に抑えた。

3月29日(水)
準々決勝
対 東海大福岡
(福岡)

エース本領発揮 安定感ある投球

午後4時4分開始(観衆20,000人)

東海大福岡	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
大阪桐蔭	0	0	0	0	1	0	2	1	X	4

五回2死一塁から泉口の右翼線適時三塁打で1点を先取。七回は1死三塁から山田の中前適時打などで2点、八回にも1点を加えて突き放した。エース徳山は速球に切れがあり、被安打5の10奪三振で2失点完投。



五回、2死一塁から泉口がライトに適時三塁打を放つ



七回、2死一、二塁から徳山の左前打で山田が生還



3月30日(木)
準決勝
対 秀岳館
(熊本)

好機を逃さず 競り勝ち決勝へ



午後1時51分開始(観衆36,000人)

大阪桐蔭	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
秀岳館	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

少ない好機をものにし、接戦を制した。六回2死三塁で、山田が変化球を捉え、右前に落として先制点を奪うと、八回にも山田が左中間適時二塁打を放ち追加点を挙げた。先発の徳山は直球とスライダーを内外角に丁寧に投げ分け、1点を失った後の八回2死一塁の場面では広部にスライダーを振らせ、二飛に打ち取った。

六回、2死三塁で山田が右前適時打を放ち、先制

2校に感動大阪大賞

史上初の大阪勢同士の決勝となった第89回選抜高校野球大会(毎日新聞社など主催)で、優勝した大阪桐蔭と準優勝となった履正社の両チームに4月5日、大阪府の松井一郎知事から府民栄誉賞に当たる「感動大阪大賞」が贈られた。

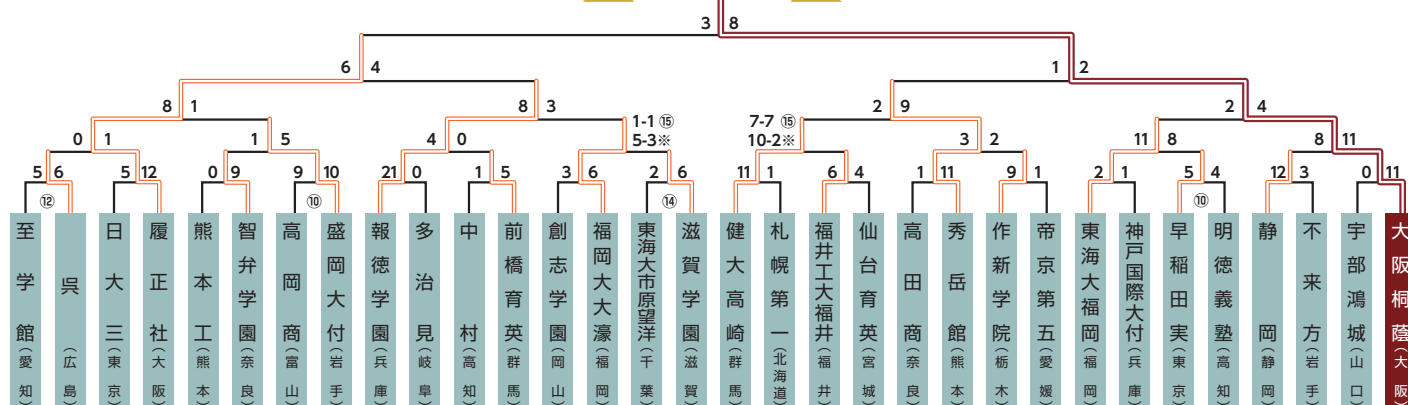
同賞は府民に深い感動を与え、府に大きな貢献をした人などに贈られる。府庁で開かれた贈呈式で、松井知事は「開幕前に大阪対決で決勝を、と言ったが、本当にやってくれた。皆さんが成し遂げたことは、府民の誇りだ」と健闘をたたえた。

式の終了後、福井章吾主将(3年)は「履正社というライバルがいたからこそ賞をいただけた。最高の舞台で最高の相手と対戦できた」、履正社の若林将平主将(3年)は「大阪桐蔭は同じ大阪代表として意識してきた。夏の(大阪)大会でリベンジしたい」と闘志を燃やした。



●第89回選抜高校野球大会——戦いの軌跡
(丸囲み数字は延長イニング、※は引き分け再試合)

優勝 大阪桐蔭





アルプスをひとつに 応援団が優秀賞

大阪桐蔭の応援団が優秀賞に輝いた。吹奏楽演奏のレベルが高く多彩であることや、声援との組み合わせにも工夫があることが評価された。

応援は、吹奏楽部174人が盛り上げ、入場行進曲にもなった星野源さんの「恋」など最近の曲を導入したほか、野球部員や生徒らが声を振り絞り迫力のある応援でアルプス全体がひとつに。今年も野球だけではなく、応援でも高校野球ファンを魅了した。大阪桐蔭が優秀賞に選ばれるのは3年連続4回目。



学校の誇りであり 生徒の憧れ

校長 小野 研一

優勝は、日頃の皆さんの努力の結実です。本当におめでとうございます。2回戦での逆転劇、決勝戦9回表の猛攻など、不利な状況を跳ねのけ、粘り強く戦ってくれました。野球部は学校の誇りであり、生徒の憧れです。周囲の期待からプレッシャーもあったと思いますが、選抜出場が決まってから皆さんの表情から気負いが消え、自信にあふれていくのを見ていました。その気持ちを忘れずに、これからも切磋琢磨しながら日々努力を重ねてください。



チームの一体感が 優勝の原動力

部長 有友 茂史

この優勝は真に「チーム力」で勝ち取ったものです。一部の選手に頼るのではなく、個々の日頃の練習と、監督、コーチとの高い意識の共有の成果です。2回戦の逆転劇、決勝戦の粘り、成長を実感しました。支えてくださった方々から「今まで以上に嬉しかった」というお声をたくさん頂戴しました。子どもたちの一体感が試合を通して伝わり、多くの共感を生んだのだと思っています。達成感に浸ることなく、夏に向けてさらに邁進していきます。



ひたむきさと 粘り強さの5試合

監督 西谷 浩一

秋の大阪で3位、近畿大会でも勝ち上がった中で、悔しさと危機感を胸に強化に励んできました。決して技術的に突出した選手たちではありませんが、練習に対するひたむきさ、試合に対する懸命さは素晴らしいものを持っていた。粘り強さがこの5試合すべてに表れていたと思います。次は夏の甲子園でまた大きな旗を勝ち取る、これに尽きます。センバツと同じく全員野球で勝ち取りに行きます。



大会中の成長と 攻めの姿勢

主将 福井 章吾

力不足の僕たちが優勝できたのは、大会中の成長があったからだと思います。リードされている場面でも心に余裕があり、全員がまだいけるという攻めの姿勢を崩さず戦えました。秋からの危機感、冬の厳しい練習を乗り越えてきたという自信と、甲子園という舞台、何より多くの方々の声援が僕たちを後押ししてくれました。春夏連覇を2度達成したチームはまだありません。このチャンスを逃さないように、これからも頑張ります。



学園ニューズレター〔ネオス〕特別号
大阪桐蔭高等学校 硬式野球部
第89回選抜高等学校野球大会 優勝記念特集

2017年5月発行

発行元：学校法人大阪産業大学 総合企画室 企画課
〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001 <http://www.osaka-sandai.ac.jp>